

第89期報告書

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

TOP MESSAGE ご挨拶

当社は、1907年（明治40年）の創業以来、消防車のトップメーカーとして、わが国の消防技術発展の歴史とともに歩んでまいりました。これもひとえに株主様をはじめ関係各位からの温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

当社グループは、「人と地球のいのちを守る」をスローガンに掲げ、消防車両・防災・産業機械・環境車両の4つの事業を通じて、災害から人々の生命と財産を守り、そして、かけがえのない地球環境の保全に貢献するために、社会の変化に対応したソリューションの提供に取り組んでまいりました。

社会課題が、一層多様化、複雑化するなかで、安全、安心で持続可能な社会の実現に向けて、企業の果たすべ

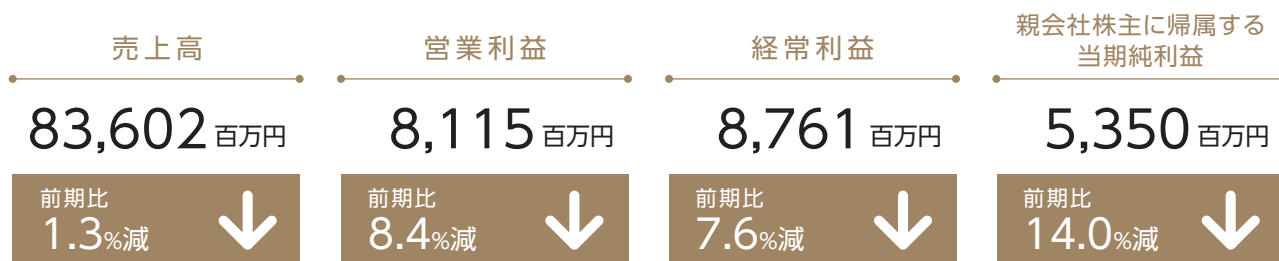
き役割は大きくなっています。変化の激しい環境下であるからこそ、より中長期的な視点に立ち、中期経営計画《Morita Reborn 2025》の基本方針を着実に実行するとともに、環境への配慮、社会貢献、ガバナンスの強化といったサステナビリティの向上に取り組んでいくことにより、企業の社会的責任を果たし、企業価値の向上を目指してまいります。

これからも、広く社会から信頼される企業グループであり続けられるよう全社一丸となって邁進してまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO **中島 正博**

代表取締役 社長執行役員 **金岡 真一**

第89期の概況



当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に加え、材料価格の高騰、半導体の供給不足など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、引き続き従業員をはじめとしたステークホルダーへの罹患リスク低減を図り、感染拡大防止に努めつつ企業活動を行ってまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は前連結会計年度比1,064百万円減少し、83,602百万円（1.3%減）、営業利益は前連結会計年度比740百万円減少し、8,115百万円（8.4%減）、経常利益は前連結会計年度比718百万円減少し、8,761百万円（7.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、リコール関連損失199百万円を計上したこともあり、前連結会計年度比874百万円減少し、5,350百万円（14.0%減）となりました。

消防車両事業

Bronto Skylift が米国で大型受注 ～北米で最も高い104mの高所作業車～

Bronto Skylift（フィンランド）は、米国のお客様より、高さ104mを誇るS341HLA数台を含む多数の高所作業車の大型受注を獲得しました。これは、Bronto Skylift の北米での過去最大規模の受注案件の一つとなります。

世界最大の高さをラインナップに持つ Bronto Skylift の高所作業車は、風力発電等のさまざまな施設の保守・メンテナ



スで使用されており、特に、北米の風力発電施設のハブ（風車回転軸）の平均的な高さは90mと大型で、この度受注した104mのS341HLAは理想的なソリューションとなります。

米国での再生可能エネルギーインフラへの投資拡大に伴い、Bronto Skylift の北米市場における高所作業車の受注も、当社が連結子会社化した2016年以降、CAGR（年平均成長率）約30%の伸びを見せております。今後とも当社グループは、このようなサステナビリティ課題に対応する事業を拡大し、企業価値の向上を目指してまいります。



Bronto Skylift について

Bronto Skylift は2016年に当社が連結子会社化した企業で、屈折はしご付消防車及び高所作業車の世界トップブランドです。フィンランドに本社を置き、世界100か国以上に製品を販売しています。

新型強力吸引車パワフルマスターを販売開始 ～吸引力向上・低騒音化・操作性向上を実現～

モリタエコノスは、新型強力吸引車パワフルマスター（4トン車級）の販売を開始しました。

強力吸引車を使用される建設現場及び清掃現場では、労働力不足や長時間労働等の社会的課題を背景に、作業現場の生産性向上や労働環境改善、また急増する外国人労働者をはじめとした労働力の多様化への対応が、喫緊の課題として捉えられています。これら課題を解決すべく、(1) 吸引力向上、(2) 低騒音化、(3) 操作性向上を実現した新型強力吸引車を開発し、2022年6月より販売を開始いたしました。



(1) 吸引力向上

独自設計の高効率排気サイクロンの採用及び排気経路の最適化により、作業時の吸引風量を約16%*改善させ、吸引力の向上を図りました。

(3) 操作性向上

多機能かつ操作が簡単な液晶マルチモニターを採用しました。ピクトグラムを活用したユニバーサルデザインを採用しました。電子制御スロットルに、ワンタッチで設定した回転数を呼び出せるプリセットスイッチを追加しました。

(2) 低騒音化

吸排気経路の最適化及び集塵装置の構造変更により、アイドリング時及び作業時の騒音を約5dB*低減しました。



※当社従来品比

環境車両事業

普通免許対応 3.5t未満CD-I型消防ポンプ自動車を 排ガス規制対応車（ガソリン車仕様）にマイナーチェンジ

2017年3月の改正道路交通法の施行により、普通免許で運転できる消防ポンプ自動車の車両総重量が3.5t未満に引き下げられました。近年は全国的に消防団員が減り続け、高齢化も相まって体制を維持できないという危機的状況に晒されているなかで、新たに取得した普通免許では消防ポンプ自動車の運転ができなくなるという更なる課題に直面しました。

モリタは車両総重量3.5t未満の消防ポンプ自動車を開発し、2018年度から販売を開始。「ミラクルLight」の愛称で認知を拡大し、現在まで総務省や消防団等で延べ300台以上をご採用いただいております。

さらに、排ガス規制に伴うシャシのモデルチェンジを受けて、「ミラクルLight」を従来のディーゼル車からガソリン車へマイナーチェンジを行い、販売を開始しています。サステナビリティの観点からもいち早く対応しました。

この「ミラクルLight」は、消防ポンプ車の要である放水性能はA-2級を維持しつつ、加速性能が向上しました。また、コンパクトな車両ゆえに狭い道でも対向車と安全にすれ違うことができるとお客様からも高い評価をいただいております。

モリタは今後も、消防事業に携わる皆様に、使いやすく安心してご利用いただける消防車を提供いたします。

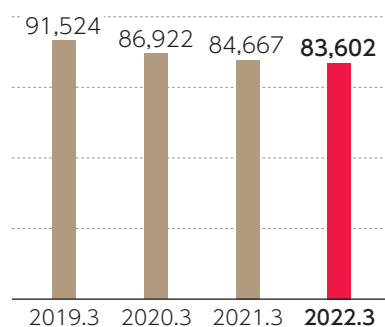


消防車両事業

財務ハイライト(連結)

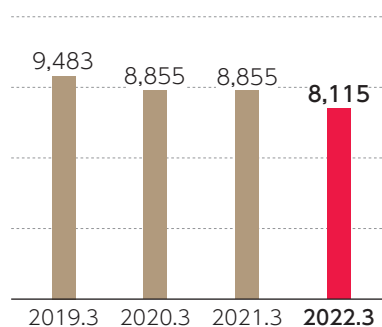
売上高

単位: 百万円



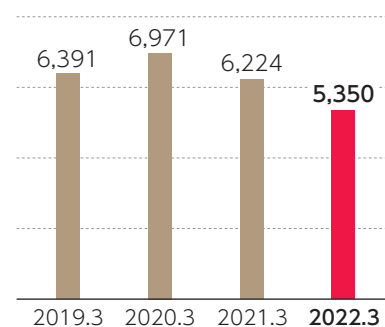
営業利益

単位: 百万円



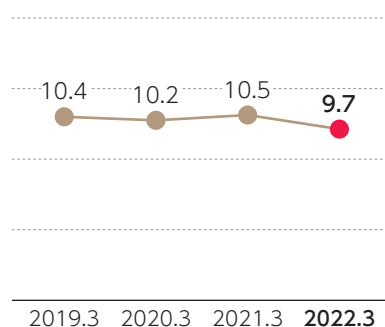
親会社株主に帰属する当期純利益

単位: 百万円



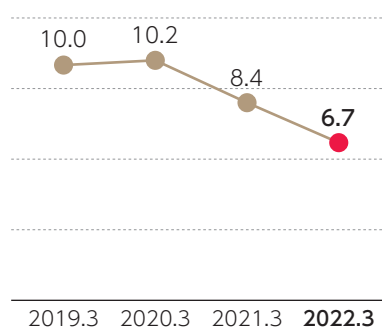
売上高営業利益率

単位: %



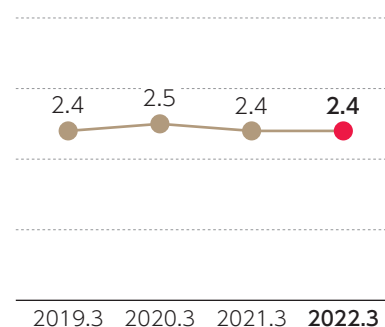
自己資本当期純利益率(ROE)

単位: %



株主資本配当率(DOE)

単位: %



セグメント別概況

防災事業

売上高

19,426百万円

前期比
7.7%増

セグメント利益

1,306百万円

前期比
32.2%増

主に消火器の売上が堅調に推移し、増収増益。



消防車両事業

売上高

49,128百万円

前期比
5.1%減

セグメント利益

5,467百万円

前期比
17.4%減

海外売上は堅調に推移したが国内需要は低調であり、減収減益。



環境車両事業

売上高

9,890百万円

前期比
9.0%減

セグメント利益

716百万円

前期比
18.8%減

受注は堅調に推移したが、シャシ(車台)供給遅延に伴う生産への影響もあり、減収減益。



産業機械事業

売上高

5,157百万円

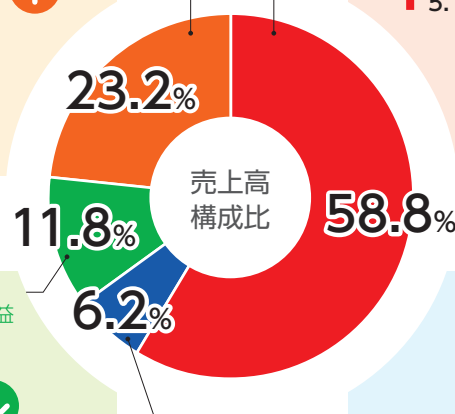
前期比
29.7%増

セグメント利益

620百万円

前期比
101.0%増

製品及び部品・メンテナンスの売上が順調に推移し、増収増益。



会社・株式情報

商 号	株式会社モリタホールディングス
創 業	1907(明治40)年4月23日
設 立	1932(昭和7)年7月23日
資 本 金	47億4,612万円
大 阪 本 社	大阪市中央区道修町3丁目6番1号
東 京 本 社	東京都港区芝5丁目36番7号
事 業 内 容	グループ各社の事業活動の支配・管理 及び管理間接業務の受託

役 員

代表取締役会長兼CEO	中 島 正 博
代 表 取 締 役	金 岡 真 一
取 締 役	森 本 邦 夫
取 締 役	村 井 信 也
取 締 役	磯 田 光 男
取 締 役	川 西 孝 雄
取 締 役	北 條 正 樹
取 締 役	加 藤 雅 義
取 締 役	福 西 宏 之
常 勤 監 査 役	浅 田 栄 治
監 査 役	太 田 将 将
監 査 役	西 村 捷 三
監 査 役	金 子 麻 理
社 長 執 行 役 員	金 岡 真 一
常 務 執 行 役 員	森 本 邦 夫
常 務 執 行 役 員	村 井 信 也
常 務 執 行 役 員	伊 藤 満

株式のご案内

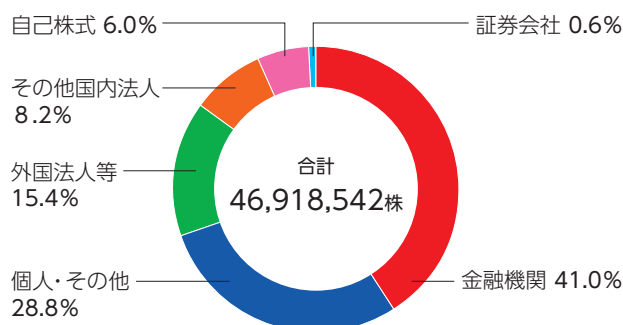
事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公 告 の 方 法	電子公告とし、当社のホームページに掲載する。 https://www.morita119.com/ir/stock/kohkoku.html
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 人 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
1 単 元 の 株 式 数	100株

主要グループ会社

株 式 会 社 モ リ タ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防 車両並びに特殊車両の開発・製造・販売
モリタ宮田工業株式会社	東京都江東区有明3丁目5番7号 消火器を中心とした消火関連機器、消火 装置、その他各種防災機器・設備の開 発・製造・販売
株式会社 モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理 施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の 開発・製造・販売
株式会社 モリタエコノス	兵庫県三田市テクノパーク28番地 衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・ 製造・販売
株式会社 モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 消防車両・救助用資機材等のアフターサー ビス・メンテナンス並びに電子応用機械器 具・情報処理機械器具の開発・製造・販売
BRONTO SKYLIFT OY AB	フィンランド共和国 タンペレ市 屈折はしご付消防車及び高所作業車の開 発・製造・販売

所有者別株式数分布状況

2022年3月31日現在



大株主（上位10名）

2022年3月31日現在

株主名	持株数(千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,580
モリタ取引先持株会	2,354
第一生命保険株式会社	2,123
株式会社みずほ銀行	2,087
三井住友信託銀行株式会社	2,082
株式会社三菱UFJ銀行	2,048
株式会社三井住友銀行	2,007
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,851
エア・ウォーター株式会社	1,730
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	1,223

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式2,817千株を保有しております。